

エスペラントは心の国境を消すことばです

Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo

Heroldo de HEL

N-ro 165

Majo 2016

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- ・表紙、Enhavo/目次 P. 1
- ・ **Hokkajda Frusomera Kunloĝdo 2016/** P. 2
2016年 北海道エスペラント初夏合宿案内
- ・ **La plano de la Karavano al Saĥaleno** P. 3
サハリン訪問団(サハリン旅団)実施計画
- ・ **Mesaĝo de Hokkajda Esperanto-Ligo al la** P. 5
93a Germana Esperanto-Kongreso/第93回ドイツ・
エスペラント大会へのメッセージ
- ・ **星田さんへの『人民の敵』のインタビュー記事について(3)** P. 7
Intervjuo de HEL-eksprezidanto HOŜIDA Acuŝi en la
gazeto "Ĵinmin no teki"(3)/横山裕之
- ・ **北大エス研だより/覚知頌春** P.14
- ・ **<有料広告>サハリンと北海道をエスペラントで兄弟の關係に** P.15
- ・ **5月8日 サハリン行き準備作業写真(札幌 Rondetaĝo)**
- ・ **Danke ricevitaj (星田淳扱い読みたい方はご連絡ください)** P.16
- ・ **tiu(j) と人称代名詞 (li, ŝi, ĝi, ili) /HOŜIDA Acuŝi** P.17
- ・ **Protokolo de la 3-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2016** P.18
2016年度 第3回北海道エスペラント連盟委員会議事録
- ・ **[編集後記/Redaktanto parolas]** P.20

Hokkajda Frusomera Kunloĝdo 2016

2016年 北海道エスペラント初夏合宿案内

HEL 研究教育部

HELの伝統行事、初夏合宿の季節になりました。今年も当会員の柴田さんのご好意で札幌市西区の柴田内科循環器科研修センターをお借りして、下記の要領で実施します。

この機会に、エスペラント仲間と共に各自の学力を高めようではありませんか！（入門、初級、中級クラス有り）

尚、この合宿の案内のチラシを同封しますので、お友達やお知り合いに参加を呼びかけて頂きますようお願いいたします。

○日時：2016年6月18日（土）13：00～18：35

19日（日）8：30～12：30

○会場：柴田内科循環器科研修センター（チラシ裏面を参考に）

○時間割：チラシのとおり。12：20分から受付開始

○参加費：資料代として500円

○申し込み：資料作成のため、参加を希望される方は、事前に後藤純子（TEL/FAX:011-790-8056）にご連絡下さい。

どちらか、1日のみ、または、途中から及び途中迄の方も歓迎します。駐車スペースは、限りがありますので、なるべく地下鉄かバスをご利用下さい。宿泊を希望される方は、申し出て下さい。

La plano de la Karavano al Saĥaleno

サハリン訪問団（サハリン旅団）実施計画

サハリンと北海道をエスペラントで兄弟の關係に！

サハリンでエスペラントの交流・宣伝・講習を行う

2016年度北海道エスペランチスト合同サハリンエスペラント宣伝・交流旅団
(略称、サハリン旅団)

La vizitgrupo de hokkajdaj esperantistoj al Saĥaleno por
interamikiĝo kaj propagando, 2016 (mallongige, La vizitgrupo al
Saĥaleno)

2016年8月10日(水)～17日(水)7泊8日の日程で、総勢14名(内学生7名)
で下記の要領で活動します。

主催: 北大エスペラント研究会、

後援: 北海道エスペラント連盟、北海道自由エスペラント協会

問い合わせ: sahxalena@gmail.com

目的:

1. 先住民・ロシア人・朝鮮人・中国人など多民族が住んでいるサハリンの住民とアイヌ民族と日本人などが共生をめざす北海道の住民の交流を図り、交流の第一歩とする。
2. 交流の手段として、サハリンの共通語ロシア語でもなく、北海道の共通語日本語でもない平易で公平な言語エスペラントを使用することをめざす。
3. そのため、サハリン住民にエスペラントを宣伝し、初歩的講習を行う。また、ロシア語版のエスペラント入門書・露エス辞書・エス露辞書を販売し、図書館などに寄贈する。
4. 現在サハリンに存在するエスペランチストを訪問交流し、意見交換を行う。
5. 1923年の宮沢賢治の北海道サハリン旅行の百周年をまえにし、「銀河鉄道の夜」の原風景に触れながら、賢治の果たせなかったエスペラント文学への

貢献をめざす。

6. こうした活動を通して、北海道の様々な年齢・立場のエスペ란チストの協力・共同の活動を広げ、今後の北海道内外での共同の宣伝の一つの経験とする。

7. この実験的で冒険的な訪問の経験によって、北海道に活動的なエスペラント青年学生運動を確立する。

各組織の役割：

北海道エスペラント連盟はサハリンでの宣伝活動を極東ロシア・ウラジオストックの運動などへと結合することをめざす。また日本のエスペラント運動にサハリンと北海道の活動を知らせ、今後必要な支援を受けられるよう努める。

北大エスペラント研究会は日本青年エスペラント連絡会とも協力してサハリンと北海道の青年運動を東アジアの運動につないでいく。

北海道自由エスペラント協会は政治的な興味や活動を行うサハリンのエスペラント学習者にSATの活動を知らせる。

日程：

2016年8月10日(水)：札幌千歳空港出国、ユジノサハリンスク市到着

8月11日(木)：新聞社訪問、宣伝

8月12日(金)：図書館訪問、宣伝

8月13日(土)：賢治が訪れたスタロドゥブスコエ海岸訪問、宣伝

8月14日(日)：宣伝

8月15日(月)：ホテル会場にてロシア人向けに講演、講習

8月16日(火)：現地ロシア人と共にハイキング

8月17日(水)：ユジノサハリンスク空港出国、札幌千歳空港到着

持参チラシ：

サハリンでのエスペラント普及活動に関する資料

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/sahxaleno/sahxaleno.htm>

1. 星田講演 ロシア語版 100部

2. アイヌタイムズとエスペラント ロシア語版 100部

3. アイヌタイムズとエスペラント エスペラント版 100部

4. 現地宣伝ビラ ロシア語 3000部作成予定

教材：ロシア人向けエスペラント辞書、テキスト(40セット)

Mesaĝo de Hokkajda Esperanto-Ligo
al la 93a Germana Esperanto-Kongreso

第93回ドイツ・エスペラント大会への

HELからのメッセージ

YOKOYAMA Hiroyuki

Karaj samideanoj kaj amikoj kunvenintaj en Munkeno,

Hokkajda Esperanto-Ligo gratulas vin pro via kongreso, kiu havas tiom longan historion, kiom nombras 93!

Mi vidas, ke vi arigas esperantistojn el diversaj partoj de la mondo. Tio ja estas la karakterizaĵo de Esperanto-movado. Mi esperas, ke tiel vi daŭrigu nian aferon.

Lastjare ges-roj Kleemann havis prelegkunvenon en nia Hokkajda Kongreso. Ni tre dankas ilin pro ilia afabla ĉeesto.

Ni esperantistoj rekonu, ke Esperanto kaj UNESKO havas komunan celon kaj idealon. Ni pli progresu por la proksimigo de la popoloj de la mondo sur diversaj kampoj utiligante Esperanton. Tio certe kontribuos por lingvaj rajtoj, lingva diverseco kaj mondpaco.

Kaj ĉi-jare la Esperanta Kongreso okazas en Munkeno.

Mi deziras, ke multaj civitanoj vizitu vian kongreson kaj informiĝu pri nia afero, kaj ĉiuj kongresanoj havu signifoplenan kaj ĝojan tempon por prospero de nia lingvo en Munkeno.

Mi esperas ke viaj membroj akumulu potencon, jen por akcepti gastojn el la tuta Germanio, kaj eĉ el la tuta mondo.

Gratulon pro la 93a Germana Esperanto-Kongreso!

YOKOYAMA Hiroyuki,

la Prezidanto de Hokkajda Esperanto-Ligo

Komentas S-ro Yokoyama pri Mesaĝo
en la antaŭa paĝo

前ページのメッセージについて

昨年 HEL の大会で講演していただいた Ges-roj Kleemann が関係する
第 93 回ドイツエスペラント大会に、あいさつ文を送り、ご返事いただき
ました。皆さんにご報告します。 横山裕之

Ges-roj Kleemann からの返事はつぎのとおり。

From: Dieter Kleemann <dieter.kleemann@t-online.de>

Date: Tue, 26 Apr 2016

To: YOKOYAMA Hiroyuki <hokkaido_esp_ligo@yahoo.co.jp>

Kara s-ro Yokoyama,

koran dankon pro via rapida sendo por la Kongreso. Ni tuj plusendis
al LKK ano. Ni tre esperas ke tiu salutmesajxo eniru al la
kongreslibro.

Saluton. Certe vi audos poste de ni. Yoshie kaj Dieter

なお第 93 回ドイツエスペラント大会はミュンヘン (Munkeno --
München) で 5 月 13 日から 16 日にかけて開かれます。

ここは札幌の姉妹都市ですね。

星田さんへの『人民の敵』のインタビュー記事について(3)
Intervjuo de HEL-eksprezidanto HOSIDA Acuŝi en la gazeto
"Jinmin no teki" (3)

横山裕之

Daŭrigo : 前号より続く

外山 歴史的には、星田さんが作った千歳と鶴川以外にもエスペラント会が存在したことはあるんですか？

星田 昔のことを云うなら、70年代あたりまでは函館にもあった。函館には樺山君がいるんだけど、なかなか動いてくれないんだよな。

M あまり組織活動が得意な人ではないですよ。

外山 その人は「ほっけの会」にいた人でしたっけ？

M いや、違うけど、ウチに居候していた時期はある。

星田 そういうこともあったね。彼もエスペラントを始めたのは北大時代だったかな？

M そうだと思います。

星田 北大の薬学部を出ていたはず。

外山 北大のエスペラント研究会は、ここ数年はM 界限の学生たちが担ってるようだけど、それ以前はどうなってたんですか？

M 1919年に結成されていて……。

星田 うん、歴史は古い(笑)。何度も消滅したり復活したりを繰り返してる。

M 00年頃にも3、4人でやってた。

星田 大鏝敏雄(オオガトシオ)たちの頃？

M そうですね。それ以前となると、ぼくが把握してるところで70年代に「ロンド・ノルド」(エスペラント語でrondoは「円、サークル、会」、nordoは「北」)という北大生のグループがあり、さらにその前には戦後すぐの北大エスペラント会の再建という出来事がある。戦前は大正時代の結成の後、弾圧事件を経て自ら解散したんだ。

星田 昭和の初めだね。

M 治安維持法に引っかかるのを恐れて……。

外山 じゃあ北大のエスペラント会はまさに「断続的に」存在してきたんですね。

M どっちかというとなかなか軟弱な歴史(笑)。

星田 現れては消え、で。

M やっぱりやがて卒業していつちゃうんだし、リクルートがうまく機能させられないとその代だけで終わっちゃうんだ。

星田 沢谷雄一がいたのは60年代？

M いや、73、74年までいますよ。

星田 そんな時期までいた？

M あるはずでOBだったのかもかもしれないけど。

星田 彼の北大時代に理学部の封鎖があって、彼も籠城に参加した1人だったんじゃないかな。その時期には少なくともいたはずだ。

M 89年ということになりますね。70年代のエスペラント合宿に行って、学生たちと酒を飲みながら話したんだけど、その時に「黄色いヘルメットの砲部隊、(共産党=民育が全共闘との対決用に組織した内ゲバ用の学生部隊)の話なんかも聞いた(笑)。

外山 彼らはもちろん反日共側？

M いや、日共側だったと思うよ。黄色いヘルメットの1万人の集団がジグザグデモをしているのを講堂の上から見た全共闘の連中が震え上がったって、誇らしげに話してたもん(笑)。ぼくも当時は民育だから、頼もしい話として聞いている(笑)。

外山 東京の話ですよね？

M うん。事実関係はよく分からないが、全国動員で北大からも行ってた奴もいるんでしょう。…
…星田さんはリクルートの才能があるんだと思うんですよ。

星田 なかなか上手くいかないことも多いんだが (笑)。

M ぼくも才能があるほうだと思う。

星田 それはそうだろうね。

M ただぼくの良くないところは、リクルートはするんだけど、その人たちの面倒を見るのはあまりやりたがらないという (笑)。なるべくお互いにお互いの面倒を見てほしい。逆に星田さんは全部の面倒を見ようとしてしまうから……。

外山 却って後継者が育たなくなってしまう、と。

M そうそう。面倒見が良すぎるんですよ。

星田 そうかなあ。

M だって今でも講習会の講師をやってるんでしょ？

星田 まあ、そうだけど。

M ぼくはそんなことやりませんから (笑)。

星田 やらずに、どうするの？

M そもそも出席しませんもん。後で報告だけ受けるのが基本。もちろん、この人はきちんと教えてやらなきゃ自分ではやらないと思えば、ぼくの教え方なんてテキストをただなぞるだけなんだけど、週1でも毎日でも付いて教えますけどね。

星田 最近は私も、「丁寧に教える」というのでは逆に進歩を妨げるかなと思って、やり方を変えてはいるよ。

M ぼくが星田さんの教え方で1つだけ不安なのは、相手が何かの単語の意味が分からなくて、これはどういう意味かと訊いてきた時に、星田さんがしばしば日本語で答えてしまうことなんです。「コメ」が分からないと云うんだったら、「白くて、食べるもの」とでもエスペラントで説明すればいいんですよ。

星田 そういう意見は初めて云われたね。私の場合は、日本語で訊かれたら日本語で答えるようにしてきた。「リーゾとは何か？」と日本語で訊かれたら「コメだ」と答えるし……。

M 劣等生だった岩間陽子をサンフランシスコに連れていったら、「私の方がエスペラントは下手だけど友達がたくさんできた」と最後には自慢していたけど (笑)、それなりに急速に伸びたのは、向こうの講師は絶対に日本語で答えることなんかできないからなんですね。その単語の意味が分からないとこっちが云えば、向こうはエスペラント語で云い換えて説明しようとするでしょう。それでこっちも頭を使わなきゃいけなくなる。「白い食べもの」って「まんじゅう」かな、何かなって。文脈から判断すればやっぱり「コメ」だろう、と結論するまでの過程がすごく大切で、星田さんの教え方にはそこが抜けていることが、この30年ぐらい不満だったんです (笑)。

星田 エスペラント語で「キーオ・エスタス・リーゾ？ (リーゾって何ですか?)」と訊かれたら「マンチャージョ (食べもの)」とでも云うかもしれんが……。

M そっちの方が教える側にとっても訓練になる。ぼくは「とにかく日本語を使わない」という教え方を心がけてますね。場合によっては英語を投入しても、日本語だけは使わずに考えることに慣れさせる。

星田 まあ実際には相手にもよるとは思うが、なかなか参考になる意見をありがとうございます (笑)。

M いえ、いつでも相談してください (笑)。……ここで記録に残しておきたいのは、星田さん自身は、自分のリクルートの方法のどこがどう優れてると考えているかということなんです。

星田 それはよく分からないなあ。

M どうして上手くいくんだと思いますか？

星田 実際に上手くいった例について1つ1つ云うことならできる。一番最初の五高時代、ほんの短い期間に10数人集めたのは、やりたいという人がまず1人いたから、寮の壁に「講習会をやります」というチラシを貼ったら、さらに何人か集まってくれた。私自身、熊本のエスペランティストのところの珍しい切手が貼られた手紙が世界じゅうから届いてるのを見て本格的にやる気になったという経緯

があるから、自分で文通を始めた時もあるべくいい切手を貼ってもらうように相手に頼んで、それで送られてきた手紙を周囲にチラチラ見せると、やはり当時の学生たちにはそれが大いに魅力的に感じられたようだ。外国と文通すること自体がまだ珍しい時代だからね。苫小牧に移ってきた当時でもまだそういうところがあって、外国との個人どうしのやりとりを、魅力的なものとして提示できていたと思う。ところが最近ではもうそれは通用しなくなって、さてどうしたものかと迷っていて、何かいいアイデアがあればヒントをください。

M それではご教示いたしましょう(笑)。1つには、今はエスペラントのブチ・ブームが来てるので、大学にピラを2百枚貼れば1人という程度の比率で反応はあります。とにかくそれで1人でも来たらまずマン・ツー・マンでみっちり教えて、その1人を起点にさらに拡げていける可能性はあると思います。もう1つは、「エスペラントをやりませんか?」って勧誘するのではなく、「ぼくと友達になりませんか?」と云うことです。それは星田さんも「うたごえ」でやったでしょ? 「合唱団に入りませんか?」というのは、「友達になりましょう」というニュアンスだったんじゃないですか?

星田 まあ、そうだな。

M もちろん「ぼくはエスペランティストだよ」と云ってもいいんですけど、何よりもそれを云ってる人間自身に「この人は面白そうだ」と興味を持ってもらわなきゃいけないんです。あとは相手の関心に合わせて、国際交流に興味がありそうなら「外国人と話す機会もたくさんあるよ」と云えばいいし、左翼的な意識を持つてる人には「直接的な国際連帯の手段が必要じゃいか」と云えばいい(笑)。いくつかバージョンを用意しておいて、さらに「君は石狩に住んでるの? あそこにはまだエスペラント・サークルがないから、君が友達を誘って作って見たら?」というふうに誘いをかけて、そうすればエスペラントを一方向的に教わるという受動的な形から、自分でサークルを作るという能動的な形に関係性が変わる。

星田 石狩の彼はもともとそういう特質を持つてるような人だったしね。

M いや、そういう特質を持った人を見極めて誘うんです(笑)。

外山 石狩の方に今、拡がりつつあるんですか?

M まだピラの文案を練ったりしている段階で、具体的に動き出してはいないんだけどね。

外山 石狩というのは……。

M 隣の街。ココからならバスで15分か20分ぐらいのところ。石狩だけでなく、この近くには他にも江別とか岩見沢とかいろいろあるんだから、どんどん作っていくようにしないと。

星田 江別と云えば、彼も最近では動きが見えないな。

M MA君はコツコツやるのはちょっと苦手なタイプですよ。ここは「MA君」にしといてください(笑)。……とにかく重要なのは、その人にとってエスペラントがどう魅力的に感じられるだろうかと考えること。

星田 それは常にそう思ってるよ。

M ぼくの中にはエスペラントとアナキズム運動があって、そのどちらかに取っかかりがあればとりあえず一緒にやっていけるだろうと思ってるんだ。星田さんの場合も、「うたごえ」とエスペラントの2つがあるということが実は重要だったんじゃないかと思うわけです。どちらか1つが行き詰まった場合も、もう1つの方で何か打開策が見えてくるようなことだってあるでしょう。

星田 今はもう当時の「うたごえ」のグループとは関わりもないけどね。参加してる合唱団は1つあるし、さらに2つも3つもかけ持ちして活動するのは結構しんどいことになる。10年20年前ならそういう元気もあったかもしれないけど……。

M いや、星田さんは本来ならもうエスペラントもとくに引退してる年齢ですよ(笑)。まだ現役で活動してることに、奥さんなんか不満タラタラじゃないんですか?

星田 エスペラントは年寄りをいたわらない人ばかりなのね、とは云ってる(笑)。

外山 いつ頃から星田さんが北海道のエスペラント・シーンの「メインの人」のような状況になったんですか?

星田 初めて北海道のエスペラントの会合に出たのは、こっちに來た53年の夏の小樽の大会。当時は山賀(勇)さんが会長だったかな。

M 星田さんがずっと苫小牧エスペラント会の会長ですよ?

星田 その当時はまだ苫小牧に会はできておらんけれども、正式に発足したのは60年だと思う。話してきたように、王子製紙の労組の青年婦人部の者を対象に講習会を始めたのは58年で、それがストで続けられなくなって、街の公民館で再開したわけだね。もちろん北海道エスペラント連盟にも、私はかなり早い段階で加盟はしておいた。

M 連盟の会長になったのはいつですか？

星田 あれは88年だな。三沢（正博）さんが会長を辞めたので……。

M いろいろと揉めたんですよね？

星田 結果的には三沢さんが追い出されたように見える。それでその後始末で、誰かが会長を引き受けるしかなくなって、三沢さんは「星田さんに頼む」と云うし、他にとくに異論もなかったので、私がやることになったんだが、しかしそれから20何年も会長を続けさせるといのは、これまた老人虐待だよ（笑）。毎年毎年、誰かに替わってほしいと云ってるのに……。

M 「老害」とか云われませんでしたか？

星田 その「老害」を作ったのはおまえらだ（笑）。

外山 今はどうなってるんですか？

星田 横山委員長。

M 1度は星田さんから交代して……。

星田 うん。数年前に1度交代したんだけど、何か都合でもう1年やってくれと云われて私がまた委員長になったことがある。

M 最終的に横山さんに交代したのがもう2、3年前ですよ。

星田 今は私は機関誌を担当してるだけ。

M ……では午前中はこのくらいにして、午後からは世界エスペラント運動の展望について語りましょう。

小川 「未来篇」ですね（笑）。

星田 広げる風呂敷は持ってないよ（笑）。

（食事中）

小川 安倍のポスターに落書きした70歳の男性が逮捕されたそうです。

M うわー、エグいな。

星田 安倍って、晋三のこと？

小川 そうです。

M 次々と決起して安倍のポスターにいろいろ書きまくって、どんどん逮捕されて留置場を一杯にしてやったらどうだ？（笑）

小川 いいですね。

M 「ぼくも落書きしました。捕まえてください」って次々と自首するんだ（笑）。

星田 しかしそのポスターというのは……今は選挙はやっておらんだろ？

M だから選挙違反ではなく器物損壊でしょう。

星田 そういふことになるのか。

M それにしても、どういう意味なんだろうな。安倍がやらせてるのか、それとも警察が勝手にハネてるのか……。だってそんなニュース、捕まった奴より安倍の方がみっともないだろう、絶対（笑）。

小川 そうですよ。

M ぼくも落書きしてこようかな。

星田 シールに何か書いてペタッと貼ったらどう？ 文句を云われたら剥がす。

M うーん……日和見主義を感じる（笑）。

星田 そうだな、日和見だ（笑）。

M メンドくさくても、やっぱり「安倍死ね」って書かなきゃ。まず薄いビニールか何かを上を貼っついて、そこへ警官が見てる前でガーッと落書きしてやればいいんだな。そしたら誤認逮捕になるべ（笑）。

星田 警官が文句を云ったら剥がすの？

M うん。

星田 器物は損壊しておらん、と。

外山 いや、2人で組むんですよ。1人が無事に捕まって連れて行かれるのを見届けてから、もう1人が刺がすんです。本人も取り調べで「オレは何もやってない」と否認する。現場に戻って見たらたしかに落書きはないので、完全に誤認逮捕になります(笑)。

M 全国で何十人も誤認逮捕されたらカッコいいな(笑)。……その本は面白いだろ？

外山 (古賀徹『理性の暴力』14年1月・青灯社刊、をパラパラめくりながら)面白そうな気がして。

M “ほっけの会”のメンバーだった奴なんだ。当時は北大生で、哲学科を出て学者になったんだけど、いまいち頭が悪いから、ぼくのことは嫌いなんだよ(笑)。

外山 あ、今は福岡にいたいんですね。

M そう？じゃあ会って見たら？ぼくの友達だと知ったらイヤがるかもしれないけど(笑)。

外山 九大の准教授だと書いてある。

M ……こないだの国会前で逮捕された諸君(9月16日に13名逮捕)は全員釈放されたそうだ。

小川 そうみたいです。しかし釈放前日(9月24日)にガサを入れるっていう。

M 「りべるたん」(法政大ノンセクトから派生したシェアハウス。12年7月に神楽坂に開設され、13年1月の池袋に移転して現在に至る)の正体がよく分からないんで、調べたいんだろうな。ガサ入れても分からないと思うけど(笑)。

小川 ガサの様子を写真で見ただけど、ヒドいですよ。窓から土足で入ってきた。

M サイテー。

外山 せめて靴は脱げ、と(笑)。

(食事休憩、終わり)

M では最後のテーマ、世界エスペラント運動の展望について……“遺言、だと思っっているなことを云ってください(笑)。

星田 ん？

M まずエスペラント運動が抱える根本的な矛盾として、エスペラントそのものが非常に小さな言語コミュニティであるということ、それからエスペラントが“世界の共通語。たらんとすれば当然持たなければならない”言語としての中立性、の問題ですね。つまり、世界に開かれた言語であるというエスペラントの建前と、閉ざされた小さな言語コミュニティであるという現実との矛盾、そのあたりを痛感したことはありませんか？

星田 それはもちろん大いに感ずるよ。いろんな人、多くの人がそう感じていて、こうすればいい、ああすればいいと考えてはいるんだろうけど、具体的な動きとしてはなかなか出て来ないし、出ていても見えてきにくい。“言語としての中立性”に関しては、とくに議論はないと思う。ただ文句だけ言うようなタイプの人が、中立といってもヨーロッパだけに偏っており、その他の地域の言語的要素は無視されておると云うし、そういう側面は実際そうなんだけれども、ヨーロッパ文明の中から出てきたものだし、当時の世界状況ではやむを得なかつただろう。ただしザメンホフは、それでも当時としてはかなり広い視野を持っていたと思う。“第1書”(ウヌーア・リープロ、1887年発表)の中にも、あまり注目されることも少ない箇所ではあるが、「ヨーロッパで一般に使われている言語とは全然違う原理によってもこの言葉が組み立て得るように作った」とあって、実際そのように出来ていることも確かなんだ。彼の云うところによれば、言葉というものをまず最も基本的な概念にまで分けて、そこからさまざまな単語などを組み立てられるようにした、と。それは使ってみれば大いにそのとおりだと感ずるわけだ。非常に弾力性に富む作りになっておる。

M ヨーロッパの言語学が分類したところの、膠着語的な要素もあるということでしょうかね？

星田 ヨーロッパの多くの言語(屈折語)とは異なって、むしろ膠着語に近いという言語学者もいるくらいだ。だからやはり膠着語である日本語を使っている日本人には理解しやすい部分もある。ただしそういう専門的な理屈を云ったところで、じゃあエスペラントをやってみようという人もあまりい

ないだろうと思う。……もう1つ、小さなコミュニティに綴じてしまっている現実というのは、おそらく日本だけのことでないだろうね。日本の特徴としては、戦前からの伝統として、エスペラントに限らず外国語の学習法が「訳読式」というか、テキストを読んで「これはこういう意味だね」とやっていくのが主流で、本当に「使える言葉」として身につけるにはそれでは限界があるということは、多くの人も云っているとおりだ。「話して学ぶ」という学習法も、日本でのエスペラントに関してもあちこちで試みられてはおるが、まだそれらが十分に効果を上げておるようには見えない。

M 「言語の中立性」ということとは一見矛盾しているように思われるかもしれないけど、「中立」であるがゆえにその言語をどのような目的に使用することもまた自由であるという発想から、さまざまなエスペラントの運動体が存在しているわけです。それはヨーロッパのSAT（サート。「世界無民族性協会」とか「国民性なき全世界協会」などと訳される、アナキズム的なエスペラント組織）のように、労働者階級の解放の武器としてエスペラントを使うということになったり、日本でも大本教（明治期に出口なお・出口王仁三郎によって創始された神道系の新興宗教）が布教のために活用した例が挙げられる。それらのさまざまな運動が、言語共同体としてのエスペラント運動総体と協力したり、あるいは軋轢を生んだりしてきた歴史がありますが、そのあたりについてはどう考えますか？

星田 「軋轢」というのは具体的に？

M 対立もあつたし、警戒心、相互不信というようなことはたくさんあつたでしょう。

星田 いろいろな傾向を持った個人や団体があれば、当然その中でさまざまな対立や軋轢も生まれるわけで、そのことと言語として広がりを持つという方向性がどう関係してくるのか……。もちろん関係はあるとは思いますが、対立や軋轢が生まれる一方で協力関係も新しく生まれるんだし、軋轢やなんか必ずしもマイナスにばかり作用するものでもないんじゃないかなろうか。

M さまざまな運動が競争し合うのはいいことではと思いますが、例えばメンバーを奪い合うとか、あるいはイニシアチブを奪い合って、どこのイニシアチブならウチは協力しないとか、そういうこともたくさん起きましたよね。それはヨーロッパでも日本でもあつたでしょ？

星田 あつたことはあつた。ただ現在の日本のエスペラント運動にはそういうさまざまな対立が表面化するほどのエネルギーさえないと思う。むしろそういうことが起きるぐらいになってくれた方が、むしろいいのになど私なんかは思ってますよ（笑）。今やそういう活力さえ失われてしまっていると思うんだが、その点はどうか？

外山 日本でも「プロエス（プロレタリア・エスペラント運動）」と「中立派」の対立は激しかった時期があるんですか？

M うん、戦前にはね。戦後は、おそらく日本共産党の方針もあつて、中立派のエスペラント運動の中にプロエス派も入り込んで、その総体を「民主的運動」として位置づけるような方向で共産党員たちも活動した。ヨーロッパのSATでは、それぞれの国というか言語共同体ごとにエスペラントを広めるためのリクルート組織が作られてるんだけど、日本のSATメンバーはそういうものを作っていないんだ。日本のSATメンバーは日本の各地の一般のエスペラント組織に入って活動してる。どうしてそういうことになったんでしょうね？

星田 私はSATについてよく知らないんだが、「リクルート組織」というのは？

M LEA（レーア）のことです。

星田 ああ、SATの大衆組織であると認識しておる。

M 「ラボリスタトル・エスペラント・アソツィオ」（労働者エスペラント協会）ですね。そこがエスペラントの普及と教育を担っていて、そこから希望者はSATのメンバーになっていく。SATはまったくエスペラントだけを使っていて、他の言語は一切使わないんだけど、SATのメンバーを獲得するためのそういうリクルート・コースがヨーロッパにはあるわけです。日本にはこれがない。日本だけなんです。

星田 それは日本のSATメンバーが努力しないからではないか？

M そう思います？

星田 外から見ておれば、そうとしか思えない。

M ウルリッヒ・リンス（『危険な言語 迫害のなかのエスペラント』75年・岩波新書の著者）なんかは、日本の中立派エスペランティストたちが SAT に対して友好的であるために、SAT の側もあえて自前のリクルート組織を持つ必要が痛感されなかったんだろうと分析してますね。

星田 そうだとすれば、日本にそのようなリクルート組織がないことにも問題はないと考える？

M もちろんぼくはリンスの見解には違和感があって、日本の中立派エスペランティストたちが SAT に対して「友好的、だったというより、SAT が日本の中立派組織のために働いてきただけなんじゃないかと思うんです。「労働者階級のため」とかではなく……。

星田 だとしたらどういう結論になるの？

M “どうすべきか、という前に、まずは現象をどのように捉えるかが大事なんです、とりあえず現象をそう捉えた場合には、いくつかのやり方がある。1つにはもちろん、このままでいくという選択肢がある。SAT はこれからも中立派組織のために働くっていうね。その過程で、多少なりとも左翼的・民主主義的な傾向をエスペラント運動総体に注入していく努力をするという、これまでの方針を踏襲するという事です。

もう1つの選択肢は、やはり日本の SAT も自前のリクルート組織を作って、「SAT としての活動」を展開する、と。もちろん引き続き中立は組織の中で活動する人がいてもいいんだけど、左翼運動プロパーで働くエスペランティストの層を形成していく。

さらにもう1つ、SAT がそれほど中立派組織の中で活動することに意義を見出しているのなら、いつそ SAT の組織は日本には必要ないのではないか、という選択肢だってあります。

つまり現状維持か、SAT の独自性の確立か、それとも SAT 解消か、3つの選択肢があるわけですよ。

星田 SAT と他の組織の関係について、私が理解しているのは一部でしかないと思うんですが、まず日本の中立派組織が SAT に対して友好的、少なくとも強い拒否感を持ってはいないのではないかという点が事実であるかどうか。細かい話はともかく、一般的にはそうであろうという感じを私も受ける。身近なところで具体的に考えると、見渡せば札幌のグループの中には一部、SAT に対して拒否的な者もいるよね。数人だな。しかし一方で、今の北海道エスペラント連盟の委員長は SAT に入ったんだろう？

M そうです。

星田 ということはココ（M邸は「北海道自由エスペラント協会」の事務所も兼ねており、このグループは一時は「SAT 札幌」を称していた）にも時折来ておるわけだよね。彼が現在は連盟委員長であるということで、連盟と SAT との関係はどのようになりつつあるのか、あるいはどうしようとしているのか、そこらへんの見解は？

M 横山さんはアイヌ語の普及運動を SAT の組織を通じてやりたいんだと思うんです。それは世界を視野に入れた横山さんの展望で、もう1つ、ローカルな動機として、北大エスペラント研究会の若者たちと仲良くして、北大グループが独自性を持ちながらも、北海道エスペラント連盟の活動の一部を担ってくれるようになってほしいと考えているんでしょう。

星田 それはそうだと思うが……既存のエスペラント組織の中から、あるいはエスペランティストを新しく育成して、SAT 側にリクルートすることができる立場の人間が、ココに1人いると私は見ておるし、また実際そうしているとも見ておる。しかし現状ではまだ不十分で、さらに何かをしなければならんと考えておるらしい。そういうことなんじゃないの？

—— Daūrigota(次号につづく) ——

新年度に入ってはや一か月が経過し、北大キャンパスは新緑の季節を迎えている。そろそろジンパの煙が構内に充満し、胃袋を満たすことに浮かれる学生と、厭世的な空腹を抱えた学生とのコントラストが見られるようになる。

5月の札幌は日光とそよ風と緑にあふれ、晴れた日に外を歩くのが楽しい。実に過ごしやすい季節である(但し夜は寒い)。私もそう思っていたが、数年前に花粉症を発症してからこの季節は、素晴らしい季節であるのと同時に、目と鼻がしょぼしょぼする実にあずましくない季節となった。ここ数日はティッシュを必要とする日々が続き、追い打ちをかけるように一昨日長年乗ってきた自転車が壊れた。

新年度を迎え北大エスペラント研究会、略して北大エス研はジンパよりも花粉症よりも一足先に新体制を発足させた。新たに会長となった4年の加藤智彦氏は文学部中国文化論講座に所属し中国語学を専攻する学生で、今年1月の入会から4か月目での会長就任という異例の抜擢となった。とはいえ、氏は入会以前1年近くエスペラントを独習していた経験があり、そのエスペラント能力は非常に高い水準にある。

4月から北大エス研は昨年度に続いて新生の勧誘を行い、これまでに3名の新規会員が北大エス研に加わった。加えて、加藤新体制では機関誌の制作や大学祭での出店など、前年度までには無かった新たなプロジェクトが提案されている。週に一回日曜日に開かれる例会では、会員がそれぞれ自身のエスペラント能力の向上に取り組んでいる。今後、エスペラントを用いて可能なことは何かという、エスペラント運動にとって極めて重要(だと私が思っている)な問題が議論されるようになることを期待している。

さて、今年度我々北大エス研は北大祭に(恐らく)初めて出店し、雑貨を販売する予定である。大量の雑貨を供給してくれた麻生の某エスペランティストM氏には、ここで感謝の意を表す。日程は6月2日から5日までの4日間、場所は南側、大野池近くのI32を予定している(参照:

<http://nire.hokudaisai.com/kukaku.php>)。最高の笑顔とあいさつをお客様にお届けできるよう、日々会員一同で努力している。北海道エスペラント連盟の皆様も、今年の6月は初夏の北大キャンパスで最高のSaluton!を探しに行ってみてはいかがだろうか。

<有料広告>

サハリンと北海道を エスperantで兄弟の關係に

— クラウドファンディングでの出資のお願い —

サハリンをこの夏訪問し、エスperantの宣伝をする企画にクラウドファンディング(※)で資金の一部を調達することにしました。すでに参加者は14名で確定し、現時点で参加費・カンパなどで210万円が集まりましたが、現地活動費など75万円以上が不足しています。

ネットのクラウドファンディングのサイト「READYFOR」に申請しています。申請が通ったら、みなさんでそこにアクセスして「サハリンと北海道を兄弟の關係に」をクリックしてログイン登録してください。金額は1万円以上をお願いします。期間は2016年6月1日～7月15日を予定しています。みなさまの出資をお願いします。詳しくはsahxaleno@gmail.comまでお問い合わせください。また、どうか急いでこの情報を拡散してください。

北海道エスperantチスト合同サハリン交流宣伝旅団

主催：北大エスperant研究会、後援：北海道エスperant連盟、北海道自由エスperant協会
問い合わせ：sahxaleno@gmail.com ブログ：sahxaleno.blog.fc2.com/

※クラウドファンディング(英語：Crowdfunding)とは、不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことを指す、群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語である。

5月8日 サハリン行き準備作業写真(札幌 Rondetaĝo)



Danke ricevitaj (星田淳扱い、読みたい方はご連絡ください)

* Meĵstono 2016 marto, n-ro 254, 仙台エスペラント会, B5X16 頁のうち E 文 2 頁。昨年 10 月の第 10 2 回日本 E 大会(仙台)関係の投稿、各地の機関誌からの大会記事転載多数。「☆ようこそ、エスペラントへ☆開催」は今年 2 回計画されているエスペラント紹介イベントについて。

* Ponteto(Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo) Marto 2016, n-ro 278: B5x20 頁のうち E 文 5 頁半は“HIGAŠINO KEIGO FURORAS EN ĈINIO/東野圭吾中国席捲/SASAKI Teruhiko”と“Mia Esperanta Vivo(5 最終回)/Glauko Pompilio”。第 65 回関東エスペラント大会(6 月、東京)案内、酔いどれ文法再確認 5、ネパールでのヒマラヤの集い/堀泰雄、PVZ を読破しました/ほりやすお、以下堀さんの本の紹介。

第 65 回関東エスペラント大会(6 月 11~12 日、東京)の案内を同封。

* 受講生通信; 第 165 号、2016-4-01, 沼津エスペラント会, B5X12 頁のうちエスペラント文 1 頁は初級講座修了者 4 名からの便り。「エロシェンコへの興味から」とか、「宮沢賢治にひかれて ---」など E. にかかわったひとからの縁で入ってきた人が結構いる様子。

* La Movado: 関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行, N-ro 782, aprilo 2016 B5x20 頁のうち E 文 3 頁半。巻頭記事は「第 90 回九州 E 大会(5 月、太宰府)案内」。連載中の「ジャンボリーを機に思うこと」は配布の小冊子を使って E が簡単に優しいことを印象付ける工夫を語る。対訳「La Colulo(Trad:belmonto)/一寸法師」の連載はじまる。「ワン・ワールド・フェスティバル出

典報告/木元靖浩」は「あなたはエスペラントをやっている理由を他人に説明できますか」と問う。

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 314/ aprilo 2016, Internacia Gazeto de Esperanto jokohama(Hama-Rondo)A4X4 頁、エスペラント文。巻頭記事は来年予定の世界の教科書展への協力依頼。2-3 頁は Legokunsido で読んだ“Mara Stelo”について。4 頁 Ĉina legendo には Hundo kaj kato/Ji Yingeng.

* La Tamtamo; 第 486 号、2016 年 4 月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X8 頁、日本文。2 月の横浜国際フォーラムでの報告「エスペラントの現状」。読書会報告は Mara Stelo について。「エスペラントの大恩人」①伊東三郎さん/牧野三男には 1963 年上野駅ホームでの伊東三郎、星田淳、牧野三男の並んだ写真も。

* NOVA VOJO :N-ro 527 aprilo 2016, EPA(エスペラント普及会), A5 X34 頁のうち E 文 10 頁。対訳で連載中の「出口なお 出口王仁三郎の生涯」は第 2 章に入る。「Kaprica Monata skribo/月刊・カプリーツァ/奥脇俊臣」は連載 15 回目、タイトルは「死刑廃止へかじを切るカトリック教会」。連載を再開した対訳の「RAKONTOJ DE OOMOTO/大本物語/ドブジンスキー」は 15 章に入る。

* Sferilo:SFERO(San Francisco Esperanto Regional Organization)の機関誌(電子受信):Aprila Sferilo: フランスの音楽家 Hector Berlioz(ベルリオーズ、幻想交響楽などを作曲、1803~1869)のことばが引用されている。

La Tempo estas bonega instru-
isto, sed bedaŭinde ĝi mortigas
ĉiujn el ĝiaj studentoj.

どう理解しますか？

4月23日の「国際語の日」のイベント案内(英文)。内容は:

9時～15時: 学生・青年向け講座

15時～ 一般向け行事

18時～ パーティー

* La Movado: 関西エスペラント連盟
(KLEG) 発行、N-ro783, majo 2016.
B5x16 頁のうち E.文 3 頁半。

巻頭記事は書評: Esperanto and
Its Rivals: The Struggle for an

International Language de
Roberto Garvia という英語文献
についてその内容: 国際語としてのエ
スペラント、ヴォラピュク、イード、さら
に英語、現代ヘブライ語を比較して
いる。Blogo de unu patrino/AI-
KAWA Setuko は最近「保育園落
ちた 日本死ぬ」で話題になった問
題。すでに終わった「エスペラントの
森に、素敵なお話を求めて/津田昌
夫」の番外編は 本格的(まじめ)な
ポルノ作品 "Vojago al kuniĝo" につ
いて。

tiu(j) と人称代名詞 (li, ŝi, ĝi, ili)

HOSIDA Acuŝi

tiu(j) は 指示形容詞として (見えている) 物や人について
この (その、あの) と示します。

Kiu estas tiu knabo? あの子 (少年) は だれ? 答えは

Tiu (knabo) estas Karlo. のようになるでしょう。knabo が
省略されれば Tiu は指示代名詞 (あの人) のように

はたらく (機能する) ことになり、もう名前までわかってしまえば

Li estas mia amiko. と、続く会話では人称代名詞(li)を使います。

続いて複数の場合の例:

Kiuj estas tiuj knabinoj? あの女の子たちは だれ?

Tiuj (knabinoj) estas Maria, Heleno kaj Lilio.

あの人 (女の子) たちは Maria, Heleno, Lilio. です。

続く会話では

Ili estas miaj amikoj. と、人称代名詞(ili) が出て来ます。

JEI の「エスペラント日本語辞典」での tiu の語法説明:

tiu(j) で示され一旦話題に上がった対象はその次からは普通は人称
代名詞 (li, ŝi, ĝi, ili) であらわされる。

Protokolo de la 3-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2016
2016年度 第3回北海道エスペラント連盟委員会議事録

日時 : 2016年3月20日(日) 13:00~15:00

場所 : 札幌エルプラザ2階 会議コーナー(18人用)

出席者 : 横山、星田、後藤(義)、後藤(純)、川合、山下、阿部 (記録)
(オブザーバー参加 宮沢直人、覚知頌春)

<組織>

- ・新規加入者 なし
- ・退会者 1名 (二郷美砂子) ・会費未納者 11名 (振り替え用紙を機関誌に同封)

<財政>

- ・現在、残高は100万円を切っている。今後も予算どおり必要に応じて支出。(阿部)

<広報>

- ・ホームページのアクセス数 73,854件。約2ヶ月で291件 (横山)
- ・メールマガジンは昨年10月以降発行なし。初夏合宿にあわせ発行したい。(横山)

<情報・宣伝>

- ・反戦エスペラントチスト相沢良の没後80年の記事が北海道新聞に掲載されたので機関誌 N-ro 164の7~9頁に載せた。(星田)
- ・初夏合宿が決まったら、報道関係に働きかける。チラシはエルプラザ、かでの2・7、地下歩行空間のシミサポコーナーに置く。
- ・北海道大学エスペラント研究会 (仮称 EHU ~ La esperanta rondo de la Hokkajda Universitato) は、現在会員6人。週1回日曜午後4時30分から集まって学んでいる。HEL行事などのチラシをもらえるならば、宣伝に協力したい。(覚知)

<教育・研究>

・例年どおり連盟の初夏合宿を柴田内科循環器科研修センターで実施したい。使用可能な日 を柴田先生に星田さんから確認してもらいたい。(後藤(純)→了解(星田))

(日程)柴田内科に確認、6月18(土)19(日)とする。(星田)

・地方会の学習:

札幌(S&ES);月曜例会『日本文化77の鍵』(山下)。土曜例会『Homoj de Putin』は3分の2を超え5月中の終了が目標。またテーマを選んで会話をしている。(後藤(純))

苫小牧(TE&S):『Kredu Min, Sinjorino!』いろいろな版があり、それぞれ手持ちの本の頁が異なっているが、面白いので人気がある本なのだと思う。(星田)

<機関誌>

第164号は20頁で本日発行、90部作成。次号発行は次回委員会の日に。(星田)

<年間計画>

・北海道大会は、前号掲載のとおり、かでの2・7で10月22日(土)午後に総会(930号室)、23日(日)午後に堀泰雄さんの公開講演会(810一B会議室)。

・初夏合宿は6月中に柴田内科循環器科研修センターで実施。

<社会活動>

・北海道エスペランティスト合同エスペラント交流宣伝サハリン旅団は、北大エスペラント研究会が主催し、HELは名義後援し会員数名が参加を計画。

・さっぽろ自由学校「遊」でのエスペラント講座については、実施に向けて時期・内容を今後話し合う。

<次回委員会>

5月15日(日)13時から札幌エルプラザ(部屋は1週間前申込)
(10時から機関誌印刷)

[編集後記/Redaktanto parolas]

* 「tiu(j)と人称代名詞」は ちょっと質問を受けたので整理してみました。JEIの辞典を活用してください。

この点については、もう絶版かと思うが JEI の "Elementa Legolibro de Esperanto/Mijake-Sihej" がきちんとあつかって いました。

* Intervjuo de HEL-eksprezidanto は 連載3回目。さらに次号へ続きます。

* 熊本の群発地震、これで一か月。私 (Redaktanto) の十代の頃 8年間は熊本県に住んだが、地震の記憶は1回だけ、

それも震源は九州ではなかった (南海大地震、1947) 。

Ĉu okazas ia terkrusta sango sub Kjuuŝuuo?

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000円、青年会員 (26歳未満) 1500円、
購読会員 2000円、家族会員、失業者など割引 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

*Redaktas la Organo Fakto de HEL

c^e HOS^IDA Acus^i

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS:0144-74-2539

*Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 100, Simin-Katudo-Sapoto-Senta

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

TEL-FAKS: 0126-35-7153

Retadreo: kunespere@olive.plala.or.jp

*TTT-ejo : <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm>

*Pos^tg^irkonto (郵便振替) : 02700-6-17075

北海道エスペラント連盟

*編集: 連盟機関誌部

〒053-0844 苫小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

Retadreso: hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

*事務局: 川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北8条西3丁目札幌エルプラザ

市民活動サポートセンター レターケースNo. 100